

# AIを悪用した犯罪への対応と 安全・安心なAI社会の実現



日時 令和8年 5月 15日(金) 13:30 - 17:30

受付開始 12:30 会場 都市センターホテル 3階 コスモス I

主催 警察政策研究センター (公財)日工組社会安全研究財団

後援 (公財)公共政策調査会 警察政策学会 (一財)警察大学校学友会

## 開催趣旨

近年のAI技術の進歩に伴い、AIの社会実装に向けた期待が高まる一方、生成AIで作成した偽情報を悪用した犯罪や社会に悪影響を及ぼす行為が確認されている。特に、我が国では、生成AIは10代や20代といった若年層を中心に利用が進んでおり、少年が生成AIを悪用して自作したマルウェアで企業に不正アクセスする事件や、画像生成AIを悪用して実在児童の画像を性的画像に加工する事件(性的ディープフェイク)が発生するなど、判断能力・対応能力の未成熟な少年の犯罪被害や犯行が拡大し、少年を取り巻くインターネット環境が急速に悪化するとともに、拡大を続けるAI技術を悪用した犯罪への対応が急務となっている。

本フォーラムでは、AIを悪用した犯罪の実態を踏まえつつ、安全・安心なAI社会の実現に向けて、法規制、官民連携及び教育・啓発(AIリテラシー)の観点からどのような対応が必要か議論する。

## 申込

申込締切 令和8年5月7日(木)

申込専用フォーム

<https://vb.wufoo.com/forms/q8z6gj81nytp5d/>



オンデマンド配信期間

令和8年6月1日(月)~12月31日(木)

※オンデマンド配信URLは申込後に送付いたします。

## アクセス

### 都市センターホテル

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1



●丸の内線 ●有楽町線 ●半蔵門線 ●丸の内線 ●有楽町線 ●半蔵門線 ●丸の内線 ●有楽町線 ●半蔵門線

### 東京メトロ

永田町駅 徒歩約3分

半蔵門駅 徒歩約8分

麹町駅 徒歩約4分

赤坂見附駅 徒歩約8分

【配信に関するお問合せ先】

[technical@visionbridge.jp](mailto:technical@visionbridge.jp)

〒162-0833 東京都新宿区笹筒町43 新神楽坂ビル2階 有限会社ビジョンブリッジ内

## AIを悪用した犯罪への対応と安全・安心なAI社会の実現

## プログラム

13:30-13:35	開会挨拶	<b>江口 有隣</b> 警察政策研究センター所長
13:35-14:05	基調講演	<b>越前 功</b> 国立情報学研究所 情報社会相關研究系 教授
14:05-14:20	講演 ①	<b>阿久津 正好</b> 警察庁サイバー警察局サイバー企画課長
14:20-14:35	講演 ②	<b>渡部 剛士</b> 警察庁生活安全局人身安全・少年課少年保護対策室長
14:35-14:45	休憩	
14:45-15:05	講演 ③	<b>永守 すみれ</b> ひいらぎネット代表
15:05-15:25	講演 ④	<b>西村 卓</b> AIセーフティ・インスティテュート (AISI) 副所長
15:25-15:45	講演 ⑤	<b>松尾 剛行</b> 桃尾・松尾・難波法律事務所パートナー弁護士
15:45-16:00	休憩	
16:00-17:30	パネル ディスカッション	コーディネーター <b>江口 有隣</b> パネリスト <b>上記講演者</b>
17:30	閉会	

## 登壇者 《開会挨拶・講演・パネルディスカッション》(講演順)

**江口 有隣 (警察政策研究センター所長)**

平成6年に警察庁に入庁し、生活安全局情報技術犯罪対策課情報技術犯罪捜査指導室長、大阪府警察本部刑事部長、文部科学省初等中等教育局児童生徒課長、福井県警察本部長、長官官房審議官(犯罪被害者等施策担当)、組織犯罪対策部長などを歴任。令和8年4月より現職として、警察政策を専門に調査研究を行う警察政策研究センターのトップとして、活動の陣頭指揮に当たる。

**越前 功 (国立情報学研究所 情報社会相關研究系 教授)**

情報セキュリティ、マルチメディア、プライバシー保護が専門。AIによるフェイク顔映像の検出手法等を世界で初めて提案し、「Deepfake detection」と呼ばれる新たな研究分野を創成。また、研究成果を通じた社会問題の解決の取組として、フェイク顔映像の自動検出を行う「SYNTHETIQ VISION」等を開発。

**阿久津 正好 (警察庁サイバー警察局サイバー企画課長)**

平成8年に警察庁に入庁し、在ドイツ日本国大使館一等書記官、長官官房参事官(国際・サイバーセキュリティ対策調整担当)、生活安全局情報技術犯罪対策課長、サイバー警察局サイバー捜査課長、山口県警察本部長などを歴任。令和6年7月より現職として、深刻化するサイバー空間の脅威に的確に対処するべくサイバー警察の制度・運用の企画・立案を担当。

**渡部 剛士 (警察庁生活安全局人身安全・少年課少年保護対策室長)**

平成19年に文部科学省に入省し、生徒指導を所掌する児童生徒課、公立中学校への学校現場派遣、埼玉県戸田市教育委員会への出向、生成AIガイドライン等を所掌する学校デジタル化PTなどを歴任。令和7年4月より警察庁に出向し、少年保護対策室長兼児童性被害対策官として生成AIの悪用による児童の性的ディープフェイクへの対策等を担当。

**永守 すみれ (ひいらぎネット代表)**

ネットパロール団体「ひいらぎネット」の代表として、インターネット上の有害画像・動画の削除支援や、性的ディープフェイクの監視・情報発信に取り組み。また、子供や保護者、教育関係者に向けた啓発活動やリテラシー教育にも力を入れ、誰もが安心してインターネットを利用できる環境作りを目指している。

**西村 卓 (AIセーフティ・インスティテュート (AISI) 副所長)**

平成12年に総務省に入省し、在シドニー総領事館領事、総務省サイバーセキュリティ統括企画官を歴任。令和7年7月よりAISIに出向し、現在は副所長として、安全・安心で信頼できるAIの実現に向けて、諸外国の機関とも連携して、AIの安全性に関する評価手法や基準の検討及び推進に取り組んでいる。

**松尾 剛行 (桃尾・松尾・難波法律事務所パートナー弁護士)**

企業法務弁護士・慶應義塾大学特任准教授としてAI・インターネットを含む情報法の法律実務に携わり、理論と実務の架橋を行う。著作に「第2版 最新判例にみるインターネット上の名誉毀損の理論と実務」(勁草書房、平成31年)、「生成AIの法律実務」(弘文堂、令和7年)、「増強版 ChatGPTと法律実務」(弘文堂、令和7年)等。

